



Japan Sporting Equipments Retailers Association

No.61

編集/発行:日本スポーツ用品協同組合連合会
東京都台東区浅草橋5-8-6 東京スポーツ
〒111-0053 会館 301号室
☎ 03-5829-6490 FAX 03-5829-6491
ホームページ <http://www.jsera.jp/>
E-mail jsera@jsera.jp



もう一度原点へ

陽だまりグッズと日食グラスから見えてくるもの

JSERA・日本スポーツ用品協同組合連合会

理事長 重森 仁

一生で1回見られるかどうかの天文ショーに、心わくわくしましたが、商売のほうはどうも夢が語れません。きれいごととは言うけれど、結局は価格に頼った販売が闊歩しているように思えてなりません。アウトレットモールの中で、一部メーカーがタイムサービスを連発していましたが、改善の方向が見えてきたことについて、ご努力いただいた関係機関にお礼申し上げます。が、一部の外資系メーカーを先頭に眉をひそめるようなチラシが配布されたり、協会と組んで地元の組合店を無視するような動きがあるなど、疑問符を打ちたくなる事象が後を絶ちません。業界を代表するメーカーですから、もう少し業界の範となって行動して欲しいと思うのは私だけでしょうか。

さて、梅雨空のもと、前号で紹介した喫茶店の階段を上っていった時のことです。喫茶店の正面の窓下に小さな鉢植えが3個ありました。葉は上下に元気よく揺れ、花も笑顔を振りまいていて、一服の清涼感が漂っていました。近づいてわかりましたが、自然のものではなく、どうやらプラスチック製の作り物のようなものでした。風がないのに可愛く揺れています。なぜだろう？ 疑問に思いながらも癒しの残像を残して店に入りました。店の中でもそれについて話題

が沸騰していました。それは「ひだまりガーデン」と言う名前で売られているそうです。太陽光のエネルギーが働いているようです。永久磁石とソーラーによる電流によって発生する力を利用してプラスチック製の葉や花を動かしているようです。愛くるしい動きに目を奪われてしまいます。

喫茶店内では、どこで手に入るかが話題でした。どうやら店に持ち込んだ人によれば、市内の婦人向け雑貨店で売っていて、¥148で手に入るようです。売っているところはわかりましたが、客は、特に男性はそれだけ買いに行くのは苦手なようです。欲しいけれど、行けない。誰か買ってきてとのなすり合いです。そのうち誰かが¥100ショップにあるのではと言い出しました。「100均」なら気楽に買いに行けるということで、いよいよ、「ひだまりガーデン」狩りははじまりました。

2日後、その喫茶店に行ってみました。誰も手に入れてないようです。どうやら見つからなかったようです。私は、「100均」にあると思っています。手ごろで、原価を考えても、「100均」に相応しい商品とさえ思えてきました。

今度は、私の番です。1店目は、くまなく探して

もみつかりませんでした。別のチェーン店に行きました。そこはおしゃれな商品が多いからひょっとしてと思いました。ここもないのかなと思った矢先、私の目に飛び込んできたものは小さなひまわり様の花でした。「ひだまりガーデン」と書かれたパッケージの中にちょこんとおスマシして座っていました。見つけたと言う小さな感動以上に大きな疑問が湧きました。

あまり売れている形跡がありません。あの連中もこの店に来ただろうに、・・・この店の売り場の案内を見ると「おもちゃ」コーナーでした。パッケージに対象年齢6才以上と書いてありました。大人から見てこの可愛い対象は、おもちゃのジャンルだったのです。あの人たちは、きっと癒し系の雑貨売り場あたりを探したのでしょう。おまけにパッケージの中に正座しているからなんだかわからない。葉を動かし、花を揺らせるから愛くるしい。可愛い姿を見ているから、この価値があるのだろう。パッケージに入れたままで、初めてこの店を訪れた人が手にとって買っていくだろうか？

先の雑貨店へ行って見ました。そこではパッケージから出され、ゆらゆら揺られて愛嬌を振りまいていました。この店の主人には魅力をアピールする売り方に一工夫があったのです。しかも驚いたことに¥148で売られていました。¥100ショップの1.5倍近くで売っても、そこより良く売れる。その商品の「良さ」を見せることで高い利益率を上げられると感じた一幕でありました。「ひだまり」には、ガーデン(花)、マリン(イルカ、船など)、アニマル(動物)の3つのカテゴリーがありました。「ひだまりマリン」、「ひだまりアニマル」の中から、イルカとゾウを買って喫茶店にプレゼントしました。「ガーデン」は雑貨店の主人に敬意を表してはずしました。

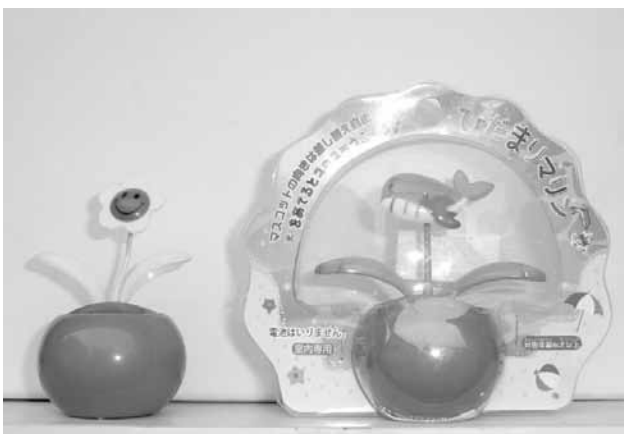
案の定、喫茶店では、どこで買って来たのと蜂の巣を突く様であったが、これも先の主人に敬意を表して黙秘しました。意地悪でしょうか。

以前、店番をしていた時、あるお客さんが、スベリ止め(炭マグ)を少し欲しいと来られました。「これが最小ですよ」とD社の2kg箱を紹介しました。

「そんなにいらないよ。少しでは譲って貰えないの!」、思案の末、小分けを承知しました。数日後¥100ショップで容器を買い300g入れて¥000でお渡ししました。大変喜んでいただきました。外商でも小分けの引き合いがあり、結局直ぐに完売しました。勘定をしてみれば、仕入れ金額の倍以上で売れていました。お客様の要望を尊重して、お客様には喜んでいただき、利益率も高められたことを覚えています。

先日の天体ショー、金環日食では、マスコミの応援もあってか、日食グラスが殆ど売り切れたようでありました。1週間ほど前には、山のようにあった売り場も2日ほど前には売り切れの張り紙が貼ってありました。連日、「目を傷めるから直接見ないで、日食グラスなどを利用して」の呼びかけはあったものの、天気予報は楽観できるものではありませんでした。購入を迷っていた人も多かったのではとされます。が、そこに購入動機を大きく動かしたものがありません。2週間余後の「金星の太陽面通過」である。「お客さん、もし曇って金環食は見られなくても、次の『太陽面通過』には利用できますよ。どちらかは晴れるでしょう。」揺れる気持のダメ押しになったことだろう。決断するにそう時間はかからなかったと想像できる。

どうお客さんの気を引き、心を揺さぶっていくのか、そして財布の紐を緩ませ、購入の決断を引き出すのか、我々スタッフの腕の見せ所であるし、また楽しみでもある。売っても経費すら出ない販売には楽しさも未来もないでしょう。「価格のみ競争」から離れて、正当な利益を上げる販売をしましょうよ。みなさん!



第13期 第6回理事会議事録

日時：平成24年4月25日（水）11：00～16：30

場所：東京スポーツ会館4階 会議室

I. 開会（進行） 蓮田専務理事

II. 理事長挨拶 重森 仁理事長

III. 出席者及び配布資料の確認

理事 重森 仁、武宮 兼敏、角前 博道
関水 正章、関口 孝夫、蓮田 茂樹
矢野幸太郎、宍戸 幸市、大林 哲夫
美馬 義一、笹淵 信嘉、松村 善行
土赤 光宏、桑原 勇健

委任理事 水島 隆司

委任監事 安西 昭雄

IV. 議事録作成人の指名

重森理事長より蓮田専務理事を指名

<報告事項>

・宍戸理事より

4月2日母が他界した際、葬儀時のお礼。

1. 理事長報告

・[4月23日]正常化のための臨時懇談会(大阪)出席

・[4月24日]オリンピック憲章40条・50条に関わるガイドラインの説明会(東京)出席

<活性化委員会>関口委員長

・スポーツ講習会のその後について 高知県美馬理事長より報告あり。

高知県知事と面会し冊子150冊を贈呈。その後、組合員が高校を回り説明をしていく。ポスター1500枚も作成し、組合員全店舗の名前を載せた。冊子の裏には講習会修了者名を載せた。

<広報委員会>角前委員長

・7月20日61号を発行予定。原稿の締め切りは6月20日。

・国体・総体・全中の写真をホームページに載

せたい。

<事業委員会>関水委員長

・パウダー事業は、年間売り上げでみるとアップしている。

・安全メガネ事業は、苦戦している。従来の6本セット・12本セットに加え新たに3本セットを作り、チラシをレポートに同送した。また、各県組合宛に組合でサンプルを置いてもらえるように案内を出しているが、注文が入ったのは1県だけなので是非協力してもらいたい。現在までの売上状況は、12店舗でフレーム72本・レンズ12枚。内、サンプルを置いている店舗は8店舗。

<共生委員会>武宮委員長

・正常化のための臨時懇談会を2月22日・4月23日に大阪で開催し、関係メーカーと協議した。

<総務委員会>蓮田委員長

・2月22日・4月23日の正常化のための臨時懇談会に出席。

・東北復興支援対策で、活性化委員会と共に対応した。

<審議事項>

1. 次期全国大会（北海道）の件（資料P13~18）

・JSERA スローガン『次代に向けたプラス考動を』に決定。また、大会スローガンも『北の大地で誓おう 変革こそが次代を拓く!』に決定。

・研修2部-I パネルディスカッションでのパネラー（若手後継者30才前後）4~5名は北海道東北ブロックから出す。

・観光ツアーは昼頃解散できる様なコースの追加を検討。

・JSERAの理事会を前日の午後5：00から開

催に変更。

- ・夕食会を午後6:30に変更。

(基本的部分は全員一致で承認)

2. 東北復興支援対策の件 (資料P7・8・19)

- ・3月の役員会で審議し、1地区に150～200万円の資金を配分。

岩手県は重森理事長、宮城県・福島県は蓮田専務理事が報告。

- ・ **宮城県対策** (資料あり)

復興イベントとして10月28日に石巻でウォーキング大会を開催予定。

名称:『東日本復興ウォーキング大会 in 宮城』

主管:宮城県スポーツ用品協同組合・JSERA

JSERA リポートに掲載予定

- ・ **福島県対策**

広いので県内を5地区に分け、検討・思案していく。

原発問題もあるので長期的に見て、必要な時に使う。

- ・ **岩手県対策**

国体を盛り上げるために使う予定。具体案はまだこれから。

(全員一致で承認)

3. 復興支援Tシャツ・タオルの件 (資料P 19)

- ・リポートに掲載した通り、全中・総体は5月

末日締め切り、国体は7月末日締め切りで引き続き注文を受ける。

変更事項は単品注文、ジュニアサイズの中止・XOサイズの追加、送料各自負担。

改めて通知を各事務局へ出す。

(全員一致で承認)

4. 来年度の全国理事長会議日程の件 (資料P 20)

- ・見本市が2月6日(水)・7日(木)開催の為、日にちを前回より1日ずらし5日(火)・6日(水)開催とする。正常化のための懇親会は別に設ける。

(全員一致で承認)

<協議事項>

1. その他

- * 次期役員 の件 (資料 P22)

次回理事会 (7月12日) 11:00～選考委員会を開催。

- * toto の件

来年1月から3期に入り、契約の内容が変わる。

- ・次回理事会について

平成24年7月12日(木)

東京スポーツ会館4階会議室

閉会の辞

武宮副理事長

16:25 すべて議事を終了し閉会した。

◎ JSERA 事務局からのお願い ◎

盛夏の候、貴組合ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素より本事務局業務に対し、ご理解とご協力を賜りありがとうございます。

各組合の総会も終わられたところもあるかと存じますが、理事長の交代ならびに事務局の異動等がございましたら、お手数ですが早急にJSERA事務局までお知らせ下さい。

JSERA 事務局

F A X 03(5829)6491

E-mail jsera@jsera.jp 又は shop@jsera.jp まで宜しくお願い致します。

みんなで歩きませんか東北！！

日本スポーツ用品協同組合連合会

理事 土 赤 光 宏

『東日本復興ウォーキング大会 in 宮城』を、今年10月28日(日)に宮城県石巻市で開催します。

今回も、2011年JSERAのスローガン「がんばろう東北！復興に向けて1500の絆」で始まった復興活動の一つとして、スポーツを通じた復興支援事業として行います。

昨年復興に向けてまず始めたのが、被災された組合店様への義援金活動を行いました。各県から頂きました義援金は被災県にお渡しし心より感謝をいただきました。次に、支援活動として復興Tシャツの販売を現在も継続して行っております。皆様の心温まる思いやりに改めてスポーツを通じた仲間に感動致しました。

そこで表題にありますように、今回は家族はじめ友だちやお客様みんな誘い合って、東北の地を自分で歩きませんか。そして、自分の目で確かめてみませんか。

全国の歩く人たちが始め一度は行きたいと思っていた人たちが、笑顔と元気を持って石巻に集まったら素晴らしい出会いの輪が広がります。そして日本が元気に蘇って行くんです。

少し話は変わりますが、私は今、一年いろんな支援をさせていただいて深く感じている事があります。これからの支援の在り方は、「志縁」をさせていただく事だと感じています。即ち、自分の志を東北の方達とご縁をいただき、一緒に歩く事で素晴らしい人生を、感じとることが必ずや出来ると思います。確かに仕事も大切です。でも、今の石巻を見てください。きっと、仕事には変えられない人生感を感じとり明日からの仕事観が変わります。ぜひ、宮城県の組合員さんとお話をしてみてください。必ず感動出来る素晴らしいものがあります。

今回ぜひ、ご自身で見て体験してほしいウォー

キングコースの見どころをご紹介します。

スタートして始めに目に入るのが石巻立町に出来た「復興ふれあい商店街」です。昨年の12月に市街地初の仮設店舗として生まれ、21店舗で運営されています。私たちの仲間であるウメシンスポーツさんも入居され頑張っているらしいです。

次に目に入るのが、北上川沿いに復興へ向けて出来た仮設商店街「石巻まちなか復興マルシェ」、敷地内ではミニイベントやライブも行われ新たな街のにぎわいを感じさせます。美味しい弁当あり有名人のゲリラコンサートもあり話題の商店街です。

そして西内海橋を歩きながら見えるのが、中瀬にある「石ノ森漫画館」現在は、修繕工事が行われていますがマンガ文化の発信基地として圧倒させられる建築物です。見学価値十分にあります。

しばらく歩いて行くと塩の匂いと壮大な海が見えて来ます。そこにあるのは、全国屈指の水揚げを誇る漁港の石巻魚市場です。

海沿いから街なかへ進むと、緑のきれいな日和山公園に着きます。牡鹿半島や松島を一望出来る最高の絶景ポイントです。

いろんな人とお話をしたり景色を見たりしながら歩いている内にもうすぐゴールです。感謝して感激して感動すると思います！！

時間に余裕がありましたら、伊達政宗公ゆかりの『サン・ファン館』当日はサンファン祭りも開催され、前夜祭には花火も盛大に上がる予定です。

結びに、どうか皆様『東日本復興ウォーキング大会 in 宮城』大会が意義あるものになります様、たくさんの参加者を募っていただけますよう心からお願い申し上げます。 押

高知県の取り組み

高知県スポーツ用品小売商協同組合

理事長 美馬 義一

組合とは何か、組合に入っているメリットは……。我々に対する永遠のテーマであります。三大大会（国体、インターハイ、全中）は当然の事として、JSERAの行っている事業、ひいては、各県で組合員が同じ目的で、共通の意識を持ち、最終的に還元されるような事業ができれば、テーマに対する一つの答えが出るのではないのでしょうか。

高知県といたしましては、組合の意義等を考えて、いろいろ討議、検討をして参りました。その一つが青年部会発足であります。（青年部の活動は又、別の機会に触れることとします）四年前の高知県総会の時、その青年部会よりJSERA活性化委員会の『「スポーツを安心してできる場」を提供するための講習会』を行わないかとの議題提出がなされました。

そして、年数回の理事会、総会の度に話し合いをし、意思統一を図り、2011年8月四国ブロックでの講習会を高知で開催する運びとなりました。参加人員は高知県組合16社中12社16名、

四国3県の理事長他5名の合計21名でした。

方向性として、各個店でアピールするよりは、組合事業として行政、学校に訴えたほうが、今まで我々が行ってきた業態にも変化があるのではないか、インターネットや量販店で購入した商品のメンテナンス等の問題、競争見積りで文具店等異業種との競合、納入業者に対する納入品の点検に対する安心感等で組合員に対する見方が良いほうに変化するのではないかというものでした。

結論として、組合事業としてアピールするためには、高知県のトップに面会し、内容を理解してもらい、情報をトップダウンで現場におろして行くということになりました。

まず、2012年4月27日高知県尾崎知事に面会しました。知事との面会は知事局秘書室秘書課長を通じて日程の調整をしました。その後、高知県教育委員会スポーツ健康課より内容目的のチェックが入り、当日はスポーツ健康教育課課長以下4名の課員と高知新聞社社会部記者が知事室に同席しました。知事との面会日が決定した時に、新聞

◆「事故防止のためのスポーツ器具の正しい使い方と安全点検の手引き」とポスター



社に連絡し、主旨をFAXで説明しておきました。

知事には、『国も県も「安全、安心」が最も重要なテーマになっています。今、教育現場では、防球ネット、サッカーゴール等の倒壊、バレーボール支柱の関わる怪我等、不可抗力による事故、人為的な事故が多数発生しております。そこで高知県スポーツ用品小売商協同組合は、教育現場に「スポーツを安心してできる場」を提供するために、学校で使用中の体育備品の保守点検の対応を行うこととなりました』と報告し、「事故防止のためのスポーツ器具の正しい使い方と安全点検の手引き」(以下「事故防止のための手引き」)とポスターを目録にて100冊謹呈しました。知事も大変喜ばれ、組合に対する期待感を感じることができました。

その後、組合臨時総会を召集し、県下高等学校46校、高専、大学4校、市町村教育委員会35箇所に対して、担当社を割り当てました。高校は必ず学校長、教育委員会は教育長に面会し、「事故防止のための手引き」とポスターを渡し、主旨説明をすることを徹底しました。

高校では高校校長会の会長をされている県立高知南高等学校の垣内校長に面会しました。主旨説明をし、校長会のなかで、組合員が各高校に訪問して来ることを連絡してくれるよう確約してもらいました。

次に県立追手前高校を訪問し、池校長、事務長、体育主任と面会し説明しました。校長は「学校現場では、児童生徒の安全が一番大事な事」と言う言葉があり、「本当にありがたい」ということで、点検の日程も決定しました。



高知市の松原教育長にも面会しました。教育長も主旨を理解してくれ、「翌日高知市小中学校の校長会があるので、ポスターを100部配り説明しておく」とのことでした。早速、ある小学校の校長より電話が入り「校長会で聞きました。実はマットの状態が悪そうで一度見に来てください」とのことでした。今までは、学校自体が業者に依頼する、修理に出す状況把握、タイミングが難しかった訳ですから、今後アプローチの機会も増えるのではないかと期待しております。



新聞社は知事との面会翌日に3行ほどの記事掲載となりましたが、興味を持たれたようで、記者に追跡調査との指示があり、追手前高校校長との面会、高知市教育長との面会にも同行し、取材を受けております。現場での点検を取材後、記事になる予定です。

このように組合事業として始まったばかりですので、具体的な点検件数、補修件数は報告することはできません。しかし、スポーツは人が汗をかいて行うものです。我々も汗をかき、行動を起こすことが組合の活性化につながるのではないかと考えております。

ある県の幹部と話をした時に「一番の成果は何(事故)もない事ですね」という言葉をいただきました。我々の今後の行動には責任が伴い、大変ですが、専門業者としての自覚を持ち社会貢献をしていると自負し、また組合員の事業繁栄になればと、目論んでおります。

関東甲信越ブロックの近況

関東甲信越ブロック協議会

会長 関水正章

関東甲信越ブロック協議会は、1都9県367社で構成されております。

昨年は関東ブロック埼玉県に於いて、全国大会が開催されました。前回奈良大会の執行部のみなさまに貴重なアドバイスを頂き、関ブロ各県の皆様の応援も有り、埼玉県組合 関口孝夫理事長のもと、全組合員が一つになり開催することが出来ました。ひとえにJSERA会員のお力のおかげと心より感謝申し上げます、本年10月の東北・北海道ブロック札幌大会の成功をお祈り致します。

私の前に会長を勤められた新潟県伊藤理事長の時に定めた三大大会の販売収益の一部を関ブロに還元する規定が功を奏し、ブロックの財政も好転し、各県の積極的なイベントに補助金を拠出することが出来る様になりました。埼玉全国大会関連や「スポーツにおける安心の場を提供するための講習会」や県組合主催の展示会等 側面から会員に還元できたものと思います。

今回、関東甲信越ブロックでは、1都9県の内、7県の理事長が交代致します。昨年度、群馬県が石坂元氏に、今年度、茨城県が坂下英雄氏、栃木県が石崎照雄氏、埼玉県は青柳征文氏、山梨県は田辺裕人氏、長野県は後藤信治氏、そして神奈川県は山岸義明氏にバトンタッチすることが決定し、それに伴い、9月27日千葉県主催関東甲信

越ブロック協議会総会に於いて次期の役員が決定し、引き継がれていく予定です。

これからの関ブロに若い力と英知がみなぎり、躍進を確信しておる所ではありますが、それもひとえに会員の皆様一人一人の力にかかっているといます。

大野尚氏の著書「小さい会社を強い会社に変える方法」の一説に「完璧を目指すよりトライする。いい知恵・いい工夫にはリスクが伴います。新しいアイデアが最善と思われても実行すれば社内への不満が出たり、顧客が戸惑ったり、思わぬところに障害があったりします。知恵や工夫に完璧はありません。もっといい知恵や工夫があるものです。中小企業がなかなか変わらないのはアイデアがないのではなく、リスクを嫌い完璧を求めるから動けないのです。リスクを考慮し、それでもやってみる価値があれば、トライしなければはじまりません。そして絶えず改良を続けることが、知恵・工夫を引き出す秘訣。」と提唱しております。我々もこの難局を知恵・工夫で乗り越えようではありませんか！

最後に関ブロ会員、全国の会員の皆様に心より感謝申し上げます、次期役員の方々の益々のご活躍を祈願し、関ブロ報告と致します。

四国の取り組み

四国ブロック協議会

会長 美馬 義一

四国ブロックは各県の理事長の報告です。

〈愛媛県スポーツ用品小売商組合 高倉理事長〉

平成24年現在28店の会員にて活動しています。活動内容は、毎年2月に総会を開催し、6月頃に役員会、10月に「体育の日キャンペーン」としてボールを贈ろう運動、11月頃には組合員全員を対象とした「意見交換会」を行っています。

今年は四国ブロック大会も愛媛で開催予定ですので、会員一同粗相の無い様準備中です。

問題点としてはどこも同じだと聞いていますが、組合員数の維持、増加を図っております。

今後の展望として2017年に愛媛国体も控えており、一昨年2店、若いメンバーが入会致しました。愛媛国体に向けて組合員が一致団結して頑張ろうと思っています。

「意見交換会」等に於いても、会員メンバー各自が厳しい現状を把握した上で、いろいろな意見やアイデア等を出し、話し合いながら何とか生き残れるよう頑張っているように思います。

〈香川県スポーツ用品協同組合 篠原理事長〉

現在、香川県の組合員の会員数は19店です。昨年の年末に1店廃業し減少しました。会員数20店で法人化しましたが、早くも会員数が減少してしまいました。

大型店舗の出店は最近ではありませんが、それ以上に怖いのがネットによる商品の購入が当たり前になってきていることです。まずは、ネットで価格比較をして買うかどうかを決める人が増えてきています。

後継者のいないお店もあり、経営者の高齢化も今後の課題となりそうです。

外商も子供の数の減少は止まっておらず、厳しい環境が続いております。

学校の予算の減少、電子見積りなど入札関連もなかなか利益の取れない業種となっています。

これからの時代を生き抜くためには、自店の強

み、得意分野を明確にし、価格ではない価値で勝負できる経営が必要になると思います。

〈徳島県運動用品小売商組合 笹倉理事長〉

徳島県組合員数現在11店です。

昨年11月大型商業施設ゆめタウンが出店しました。その中には、ゼビオ、ABCマート、むらさきスポーツ、モンベル等が入っており、その施設が数年前に出店したデポのすぐ隣に位置し、我々地域の同業店は店売りに大きな影響を受けています。

新たに組合員の勧誘に力を入れています、なかなか入会してもらえないのが現状です。

徳島県は糖尿病死亡率が全国1位であり、スポーツ後進県であります。知事が県体協の会長になり、数年前から徳島マラソン大会を開き、現在ランニング人口が大幅に増えてきており、厳しい中にも少しは明るい材料になっております。

〈高知県スポーツ用品小売商協同組合 美馬理事長〉

高知県の組合員数は現在16店です。

高知県の現状については今回のレポート「高知県の取り組み」をごらんいただけたと思いますので、その後の反応を報告します。

学校長、教育委員会とも大変評価をいただいているのですが、反面、修理が必要な物件、買い替えが必要な物件が出たときに、予算を執行できるかどうかの判断が難しくなっております。(予算がない場合、危険を承知であえて継続して使用するかどうかの判断も含む)

いずれにしても各県とも、行政側はまずは第一に近く来るといわれている南海大地震等の防災に予算を費やしておりますので、我々スポーツ業界には向かい風がふいております。

しかし四国は全県共通の「夢 志国」のスローガンがあり、前を向いて進んで生きたいと思っています。

埼玉、群馬、栃木 3県合同総会

栃木県スポーツ用品販売協同組合

専務理事 **村上英喜**
(有)村上運動具店

6月6日恒例の3県合同総会を開催しました。

今年は研修会としてグランドゴルフ、パークゴルフを行いました。グランドゴルフ用品は店頭で販売はしていましたが、なかなかやる機会はありません。

以前に栃木は一度実習を行いました。3県では初めてでほとんどの方は初心者でルールも分からない状態でしたが、いざ始まると全員の笑いが絶えない実習となりました。

ぜひ全国の組合でも実習して頂くと盛り上がること間違いなしです。

さて、なぜ3県合同総会を開催することになった事から書かなくてはならないと思います。

数年前に組合員の人数も激減し栃木1県で総会をしても盛り上がりせず、それを打開する為に今は亡き阿部理事長の提案でまず埼玉との合同総会を企画し実行しました。

短所は実行する場所が少し遠くなること位で長所の方がはるかに大きく以前より埼玉県の方が良

く分かるし仕事、組合の問題点など参考になることが多くメーカー卸問屋さまにも負担が少し解消できる今の時代には無駄な経費は必要ないと思いますし自分のスケールアップになります。そこに群馬に参加してもらい、さらに盛り上がる事が出来る様になりました。

まだ全国で実行していなければぜひこの合同総会を近くの県同士で実行して欲しいです。

確か三国志の言葉で1本の矢より2本の矢さらに3本の矢だと折れない事は歴史が物語っています。

翌日ゴルフコンペを実習し天気も良く大いに盛り上がりました。

メーカーさまより多数の商品を頂き幹事の特権で良い商品は中心の番手にしたのですが自分は参加賞でした。

最後になりますが、ぜひとも全国でこのような合同総会を広めていきたいと思っています。



大丈夫かな日本

広報委員長 角前博道

前にも書きましたが私の店は現在外商が8割程の店になりました。(なっていました。) 勢い学校との付き合いが深くなり、いいにつけ悪いにつけ先生達の振る舞いが気になる所であります。今日現在(24年6月末) 大変な問題が起きています。それは、大津市の中学二年生の生徒が23年10月マンションから飛び降り自殺した問題です。大阪市長橋下氏が、なぜもっと早くわかってやれなかったのかと泪ぐみながら記者会見しておりました。多くの生徒がいじめと自殺の関連性を指摘しながら、市教委が調査を3週間で打ち切っていたとのこと、又在校生の情報では生徒の自殺前に学校側がいじめに気づく「シグナル」を見逃していた可能性もあるとか、又生徒の自殺後父親が大津署に被害届を出そうとしたが、署は受理してくれなかったとか…?

又新聞によると自分の子供を虐待し、死亡させてしまった親の話が次から次へと出て来ます。日本の社会はどうなってしまったのか、政府は子は国の宝と云い、子育ての為に予算をつけ(子そだての法案) 又高校の授業料も無償化と現在いたっています。でも本当はこんなことでは現在の種々の問題を解決出来ないと思います。そこで根本的に考えなければいけないのは、古い話になりますが「修身」を登場させ又「教育勅語」の勉強を国をあげてやってみるのも一案と考えます。

前回の国旗国歌の話を書いた時も私は、別に国粹主義では無いと書きました。今もその様に思っています。まず「修身」は日本の将来を担う有為な子供を育てるため、時の明治政府が国を挙げてつくった「道徳」であり又子育て法だと思われま
す。「明治二十四年文部省公布、小学校教育則大綱第二条」として発せられ、「修身は教育に関する勅語に基き、児童の両親を啓培して、その徳性を養い、人道実践の方法を授くるを以って要旨とす」となっています。それは、良心、徳性、礼儀、勤労、孝行、勇気、誠実……等々、学年に応じて、人間としてあるべき姿を平易なたとえ話で説いているものです。大変大切な教育だったと思われま
すが、「修身」は思想教育であるとして、GHQの為に廃止されてしまいました。ドイツは日本と同じ様に第二次世界大戦の敗戦国であります。なぜか教育の基本的な理念を連合国側より、こわされることなく、自国の理念でもって当時より続けられているそうです。ですから民主主義を標榜する戦後教育の結果が、いまこの教育の荒廃であるとするならば、いま一度、原点に還るべきではないでしょうか。その原点とは、明治時代と云う、まさに近代日本の黎明(新らしい時代の始まるうとする時期)につくられた「修身」にほかならないと思われま
す。さてその中身と云いますと結構な量で私がここで一つ一つ書くことは出来ま

せん。興味のある方は、図書館へでも行って「修身」に関する書物を借りて読んで下さい。ただここで基本的な考え方や中身について書いておきますと、一年生から六年生まであり第一巻から第六巻まであります。私は戦後育ちですのでこの「修身」の授業をうけた訳ではありませんからどの様に進められたのかわかりません。しかしその内容は書物でわかります。各巻一から二十六くらいまでのわかりやすいたとえ話が載っています。一つ二つ例を上げてみます。一年生が習う所で、「オモイヤリ」と云うのがあります。それは、「目の見えない人が水たまの中へ踏み込もうとしました。三郎君は手を引いて、道のよい所へ連れていきました」これを皆さんはどの様に解釈されますでしょうか。山手線でのこと—。お婆さんが、よたよたして電車に乗ってくると、足を投げ出して座っている若い男の前に立ちました。電車が発車して、お婆さんがよろけました。そうするとその若い男は周囲の冷たい視線を浴びて、吐きすてる様にいいました。「俺だって疲れてんだよ!」「婆さんシルバーシートへ行きゃいいじゃねえか」シルバーシートがあるのだから席を譲る必要はないと云いたいのだろう。ここで大切なことは、この「シルバーシートの存在は、私達が思いやりの心を失いつついる現象を表わしているのではないのでしょうか」その席がシルバーシートであれ何であれ、高齢者や妊婦、身体にハンディキャップを持った人に席を譲るのは当たり前なのですから。「オモイヤリ」は、自然と人の心の中から湧き出すものでないと、いけないと思います。ルールとして決めてしまうのは、どうでしょうか？

(次号へつづく)



● 編集後記 ●

ロンドン・オリンピックまでいよいよ1月を切りました。メディアにするオリンピック出場選手の紹介やら一人一人の抱負等の報道が連日なされています。ただその割には、我々業界にピリッとしたものが伝ってこない様に感じられます。サッカーのユーロカップは、日本にはあまり直接関係ない話しだと思のですが、テレビがこれを又かなり詳しく伝えています。野球・ソフトボール等日本がメダルをかなりの確率で取れそうな競技が無くなってしまっているの、あまり熱が上らないのでしょうか。私事で恐縮ですがアテネオリンピック女子マラソン金メダリストの野口みづき選手は、私の店のお客様で、中学時代、高校時代を大切にさせて頂いた思い出があります。そのおかげかアテネ大会の前は、その上野球もありソフトボールもありで熱が今よりもっと上っていた様に思います。折角の四年毎の祭典なのにこんなに静かで良いのかなあと心配です。政治も不安定・経済も円高により今一つ元気がない状態が原因なののでしょうか、二年前の奈良の全国大会のスローガンは、「何とかせんと!」だったと思い出します。

(H.K)







